

家庭内における母親等親族の呼び方の割合とその決定理由

小島大輝 23B20708
東京工業大学物質理工学院

1. はじめに

私は普段家庭内で母親のことを「お母さん」と呼ぶが、これは最もポピュラーな呼び方であるのが気になった。

そこで「母親は、家庭内において『お母さん』という呼称が最も一般的であるか」をResearch Questionとした。そして母親の呼称とその呼称に決定した理由や他の親族の呼称を調査した。

2. 方法

開成高校3年7組のクラスLINEと高校の別クラスの知り合いに母親、父親、祖母、祖父に関してそれぞれ呼称、と呼ぶ理由を質問するgoogle formを送ることにより調査した。さらに別にX(旧Twitter)で2024/1/17~1/24の期間にそれぞれの呼称に関するアンケートを取った。

3. 結果

表1: 母親の呼称

母親	開成高校(計9票)	X(1249票)
お母さん	66.7%(6票)	43%
ママ	22.2%(2票)	39%
その他	11.1%(1票)	18%(うち「おかん」5%)

表2: 父親の呼称

父親	開成高校(計9票)	X(368票)
お父さん	88.9%(8票)	42%
パパ	11.1%(1票)	40%
その他	0%(0票)	16%(うち「おとん」2%)

表3: 祖父母の呼称(複数の呼称は0.5票に分割)

祖父母	開成高校(計9票)	X(362票)(365票)
おばあちゃん	72.2%(6.5票)	60%
おじいちゃん		64%
ばあば	16.7%(1.5票)	23%
じいじ		22%
その他	11.1%(1票)	17%
		14%

母親の呼称はその他で「かあちゃん」や「母さん」、「ママン」、「母」などが挙げられた。

呼称理由は「敬意が十分に表れている感じがするから」(お母さん)「幼少期はママ。変化理由は不明」(お母さん)「ママ→お母さん→母上→母に変わった。年齢を重ねるにつれて親しい呼び方が気恥ずかしくなったため。」等が回答された。

特に開成とXでの「お母さん」と「ママ」の割合に注目して表を見てほしい。

4. 考察

表1に注目すると、「お母さん」を用いる人は「ママ」に比べ開成、X共に多くなっている。これは*1,2の論文による調査と同じ傾向を示している。しかし、Xでの調査結果では「ママ」は「お母さん」に僅差で、その論文の調査では大学生が現在63.0%「お母さん」と呼んでいることが明らかになっており、乖離が見られた。その論文による調査は記述式のために、「ママ」と呼称することを伝える恥があった可能性と、今回のXは完全匿名のために一定数の人がふざけた可能性が主にその乖離の原因だと考えられる。また、開成高校のものもXとの乖離が見られる。開成高校は男子校であり、*2でも言及されていたが性差によるものが最も大きいことが考察できる。しかし、これもサンプル数の少なさや恥等の要因も考えられる。さらに今回X(私のFFに近い人が中心と考えられる)、開成の回答者は共に世間一般より教育を受け、親に対する愛着が強いこと(≒敬意)も*1,2の論文による調査との乖離になった可能性がある。(*3で呼称の変化要因として挙げられた。)

母親の呼称は*1,2でも言及されているように幼少期から変化する場合があることが確認できた。また、「お母さん」や「ママ」等代表的な呼称に類似した呼称が用いられることがあることが判明した。

表2,3に注目すると、父親に関しても母親と同様の傾向が見られたが、祖父母に関して「おじいちゃん」「おばあちゃん」が圧倒的に優位になっていることについては、「ママ」や「パパ」に比べ「ばあば」「じいじ」が話者にとって幼稚さを強く感じ、忌避する傾向があることが推測できる。

調査の改善案として、サンプル数を増やし、より無作為に回答者を決めることで母集団の偏りを減らし、恥を感じさせずに回答を集めることにより、さらに実際と近い調査結果が得られることが期待できる。

5. おわりに

「お母さん」という呼称が最も一般的であるかどうかを調べるために、開成高校の知り合いとX上でそれぞれ親族の呼称の調査をした結果、「お母さん」という呼称は最も一般的であると分かったが「ママ」とそこまで差はない可能性があることが判明した。父親の呼称は母親と似ていることが分かったが、祖父母の呼称はそれらと少し違う傾向があることも示された。

文献:

*1和田 香誉. 父母の呼称に関する研究I: 予備的検討, 日本教育心理学会総会発表論文集, 第50回総会発表論文集, PF1-22, 2008. https://doi.org/10.20587/pamjaep.50.0_521

*2和田 香誉. 父母の呼称に関する研究II: 大学生について, 日本教育心理学会総会発表論文集, 第50回総会発表論文集, PB022, 2009. https://doi.org/10.20587/pamjaep.51.0_121

*3横谷 謙次, 長谷川 啓三. 子どもから親への呼称と子どもの愛着態度, 家族心理学研究, 25 巻, 1 号, p. 45-55, 2011. https://doi.org/10.57469/jafp.25.1_45